



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和5年6月14日

留萌開発建設部

「第42回技術者交流フォーラム事業in留萌」を開催

～道路ネットワーク等を活用した道北留萌地域の将来のために～

留萌開発建設部では、寒地土木研究所、日本技術士会北海道本部との共催で技術者交流フォーラムを開催します。

技術者交流フォーラムは、地域で求められる技術開発に関する情報交換、産学官の技術者交流及び連携を図る目的で、平成20年度から道内各地にて開催しています。

本フォーラムでは、道路ネットワーク等を活用した道北留萌地域の将来に向けて、最近の取組みなどについて紹介します。

記

- 1 開催日時 令和5年7月27日（木）13：30～16：55
- 2 開催場所 留萌市中央公民館 小ホール（講堂）
- 3 主な開催内容（詳細は別紙をご覧ください。）

基調講演『人口減少社会における地域づくりと道路ネットワークの価値』

北海学園大学 工学部

北海学園大学大学院工学研究科建設工学専攻

博士（工学）

教授 鈴木 聡士 氏

- 4 定 員：100名（事前申込み）
- 5 申込期限：令和5年7月21日（金）
- 6 申込方法：国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所ホームページの「イベント情報」からお申込みください。

寒地土木研究所ホームページアドレス

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2312

技術管理課 課 長 山口 洋士（内線391）

課長補佐 高 浩行（内線392）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式ツイッターTwitterアカウント @mlit_hkd_rm



第42回 技術者交流フォーラム事業 in留萌

「道路ネットワーク等を活用した道北留萌地域の将来のために」

2023/ **7/27(木)** 13:30~

(開場 12:50)

留萌市中央公民館 小ホール(講堂)

留萌市見晴町2丁目2番3号 TEL: 0164-42-3333



アクセス

入場無料、定員100名
事前申し込み

➤ 開会挨拶(13:30~) 留萌開発建設部長 高橋 一 浩

➤ 基調講演
『人口減少社会における地域づくりと道路ネットワークの価値』

北海学園大学 工学部
北海学園大学大学院工学研究科建設工学専攻
博士(工学)

教授 鈴木 聡 氏



お申し込みは

寒地土木研究所HP

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

をご覧ください。



寒地土木研究所HP
[イベント情報]

事前申し込みして頂くと、当日の受付が簡単になります。

※寒地土木研究所HP又は上記のQRコードから受け付けができます。

※当日はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。

➤ 技術者交流の場(展示コーナー)

➤ 一般講演
『留萌管内における道路ネットワークを活用した取組事例』

留萌開発建設部 道路計画課 道路調査官

谷 野 淳

『道北・留萌地域における災害に強い道路ネットワークを
目指した維持管理』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部
道北技術士委員会

菊 田 寛

『暴風雪対策に関する寒地土木研究所の取り組み』
寒地土木研究所 雪氷チーム 主任研究員

原 田 裕 介

➤ 閉会挨拶(16:50~) 寒地土木研究所長

竹 内 正 信

本フォーラムは、下記プログラムに
認定されています。



(公社)土木学会 継続教育(CPD)
プログラム

認定番号: JSCE23-0670
認定単位: 2.5 単位

CPDS
811691
3unit
(※注)

(一社)全国土木施工管理技士会
連合継続学習制度(CPDS)プロ
グラム ※注 CPDS

形態コード101-1分野 1unit
形態コード101-2分野 2unit
(101-2分野は年間上限6unit)

第42回技術者交流フォーラム事業in留萌は、地域で求められる技術開発に関する情報交換や産学官の技術者交流のため実施します。今回のフォーラムは、**道路ネットワーク等を活用した道北留萌地域の将来に向けて**、最近の取組みなどについて紹介します。

《 基 調 講 演 》

➤ 13:35~14:35



北海学園大学
Hokkai-Gakuen University

『 人口減少社会における地域づくりと道路ネットワークの価値 』

北海学園大学 工学部
北海学園大学大学院工学研究科建設工学専攻
博士(工学)

教授 鈴木 聡 士 氏

《 基調講演の概要 》

2045年、北海道の人口は約400万人にまで減少すると予測されています。このような人口減少社会における地域づくりにおいて、道路ネットワークはどのような価値を有し、どのように貢献できるのでしょうか？本基調講演では、既存の主要3便益である走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の価値に加えて、観光・物流・食・防災・定住などの様々な観点から、改めて道路ネットワークの価値を考えます。

《 技術者交流の場（展示コーナー） 》

➤ 14:35~15:05



交流の場は、講演者や関係団体の方々とお話する良い機会ですので、是非、お越し下さい。講演者や関係団体の取組事例などをパネルや動画により紹介しています。



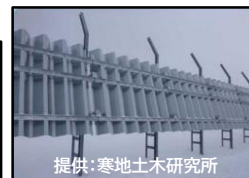
提供:北海学園大学



提供:留萌開発建設部



提供:留萌開発建設部



提供:寒地土木研究所

《 一 般 講 演 》

➤ 15:05~16:50



➤ 15:05~15:35

『 留萌管内における道路ネットワークを活用した取組事例 』

留萌開発建設部 道路計画課 道路調査官 谷 野 淳

《概要》 留萌管内における道路ネットワークを活用した留萌開発建設部の取組等を紹介します。



➤ 15:35~16:05

『 道北・留萌地域における災害に強い道路ネットワークを目指した維持管理 』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部 道北技術士委員会 菊 田 寛

《概要》 ①留萌地域の現在の交通ネットワーク ②留萌地域の災害 ③道路の防災・減災・予防保全について ④維持管理の現状と課題について 最近の取組みなど紹介します。



➤ 16:20~16:50

『 暴風雪対策に関する寒地土木研究所の取り組み 』

寒地土木研究所 雪氷チーム 主任研究員 原 田 裕 介

《概要》 暴風雪対策に関する寒地土木研究所の取り組みのうち、ソフト対策として吹雪情報、ハード対策として令和5年3月に公表した防雪柵および防雪林に関する技術資料案を中心に説明します。

参加者のみなさまへお願い

申し込み時のQRコード画像をスマートフォンに保存もしくは印刷してご持参願います。

ご来場のみなさまには下記項目にご協力をお願い申し上げます。

- 発熱、咳の症状がある等、当日の体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えください。場内ではマスクの着用を推奨いたします。
- 会場入口にアルコール消毒液を用意いたします。こまめな手洗い、手指消毒にご利用ください。
- 国や自治体の方針等により、急遽開催の中止や延期となる場合があります。
- 事前申込をされずに来場された方は、受付にて申込み用紙に必要事項を記載のうえ参加してください。

会場へのアクセス

- バスをご利用の場合
「錦町」バス停より750m(徒歩約10分)
※詳細は沿岸バスHPでご確認ください。

